



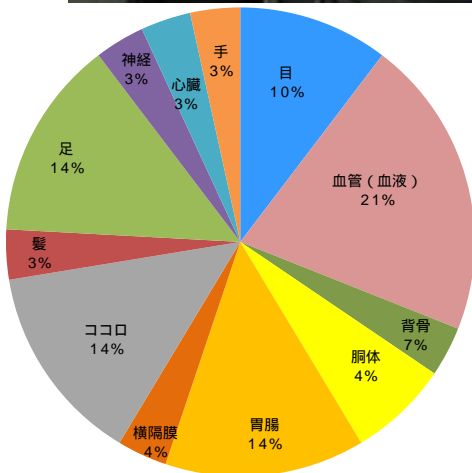
# 第1回 ワークショップ、開催!



第1回磐井川かわづくりワークショップが、平成22年2月18日(木)19:00~21:00にかけて、約30名の参加者を集めて、一関市役所大会議室で開催されました。今回のワークショップは、磐井川かわづくりに関して自由な意見交換が目的でした。ワークショップでの意見交換は、8人ずつ5つのグループにわけて行われました。



## 磐井川への参加者の思い 体の一部に例えると“血液”がダントツ



磐井川を体の一部に例えると...

受付で参加者は、赤、桃、黄、緑、橙の5色の飴玉から1つ選び、その色でグループ分けとなりました。ワークショップの始めに、グループごとに、名前と所属のほか、「磐井川を体の一部に例えたら」という思いを含め自己紹介を行いました。この中では「血液(血管)」という意見が一番多く見られました。その理由は、「必要な栄養素を運ぶため」ということでした。

ワークショップの初回は、「アイスブレイク」といって、今回の「体の一部に例えるなら...」などの簡単なレクリエーションを行いながら、顔なじみがない人々が円滑に意見の出し合いができるように、また、お互いリラックスできる心境となれるように進めました。

## 磐井川かわづくりとは?

磐井川かわづくりは、磐井川堤防の改修事業に併せ、「かわ」を活かした交流・連携の促進、地域の活性化を図るものであり、将来的には、「まちづくり」とも連携した有機的なつながりを目指すものです。一関市が主催し、国土交通省岩手河川国道事務所の協力のもと実施されます。

## ワークショップって何？

ももとは「仕事場」「工房」「作業場」など、共同で何かを作る場所を意味していました。しかし最近では問題解決や学びと創造の手法としてこの言葉が使われる事が多くなりました。「ワークショップ」は一方通行的な知や技術の伝達でなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを検討しあったり創り出したりする、双方向的な創造のスタイルです。



## 磐井川かわづくりワークショップって何？

磐井川ワークショップでは、概ね磐井川堤防改修区間における磐井川河川敷や堤防の桜並木について、『どんな利用ができるか？』、『どんなデザインだったらいいか？』という、魅力ある磐井川の将来の姿を検討していくことを目的としています。ワークショップは平成22年2月から来年度にかけて行う予定です。



## 今回の内容

今回のワークショップは第1回ということで、「磐井川かわづくりに関する自由な意見交換」が行われました。この意見交換から様々な「かわづくりで大切にしたい視点(目標)」が挙がってきました。

### かわづくりで大切にしたい視点(目標)

マルチな堤防	まちづくりの中心	住民が親しむ	イベント等で使いやすい河川敷
堤防の品質	安全・安心	河川敷の活用	サケが戻ってくる水質へ
治水・水害払拭	楽しめる場	地域社会	日常的に川に親しめるように！
心のふるさと桜並木	健康・スポーツ	施設整備	
水質改善・向上	桜並木と調和した景観	川を中心(シンボル)とした整備	
安らぎの生活ふれあいの環境	利用したくなる公園整備	磐井川。町の象徴	

参加者から挙げられた意見は、ポストイットに記載し、貼り出します。「目に見える」意見交換会です。



次回、**第2回ワークショップは3月18日(木)**開催予定です。次回の作業項目は、今回挙げられた意見を似た者同士で整理し、「かわづくりの視点を深め、検討テーマを設定」して意見交換を行います。お楽しみに！！

## お問い合わせ先

磐井川かわづくり事務局 建設部 都市計画課 公園緑地係

〒021-0027 岩手県一関市竹山町 7-2 TEL;0191-21-2111(内線 8547 8548)

FAX; 0191-21-8800

e-mail ; toshikei@city.ichinoseki.iwatw.jp